

# 大在・岡地区

(大分県大分市)

平成 23 年 1 月 1 日現在

計 画 期 間 平成 19 年度 ~ 23 年度  
 面 積 979ha  
 交付対象事業費 2,527 百万円  
 市人口 475,233 人 (地区内人口 23,700 人)

## ポイント

先進的な産業活動と生活環境の充実を図る  
 「複合産業業務拠点の形成」

## 地区概要

先端産業集積で地域経済の活性化を図るとともに、良好な  
 住宅地形成により居住者・就業者数を増加させる

## 目 標

緑豊かな環境の中で、次世代型の先端産業の集積と潤いある住居機能が調和した複合産業業務拠点の形成。

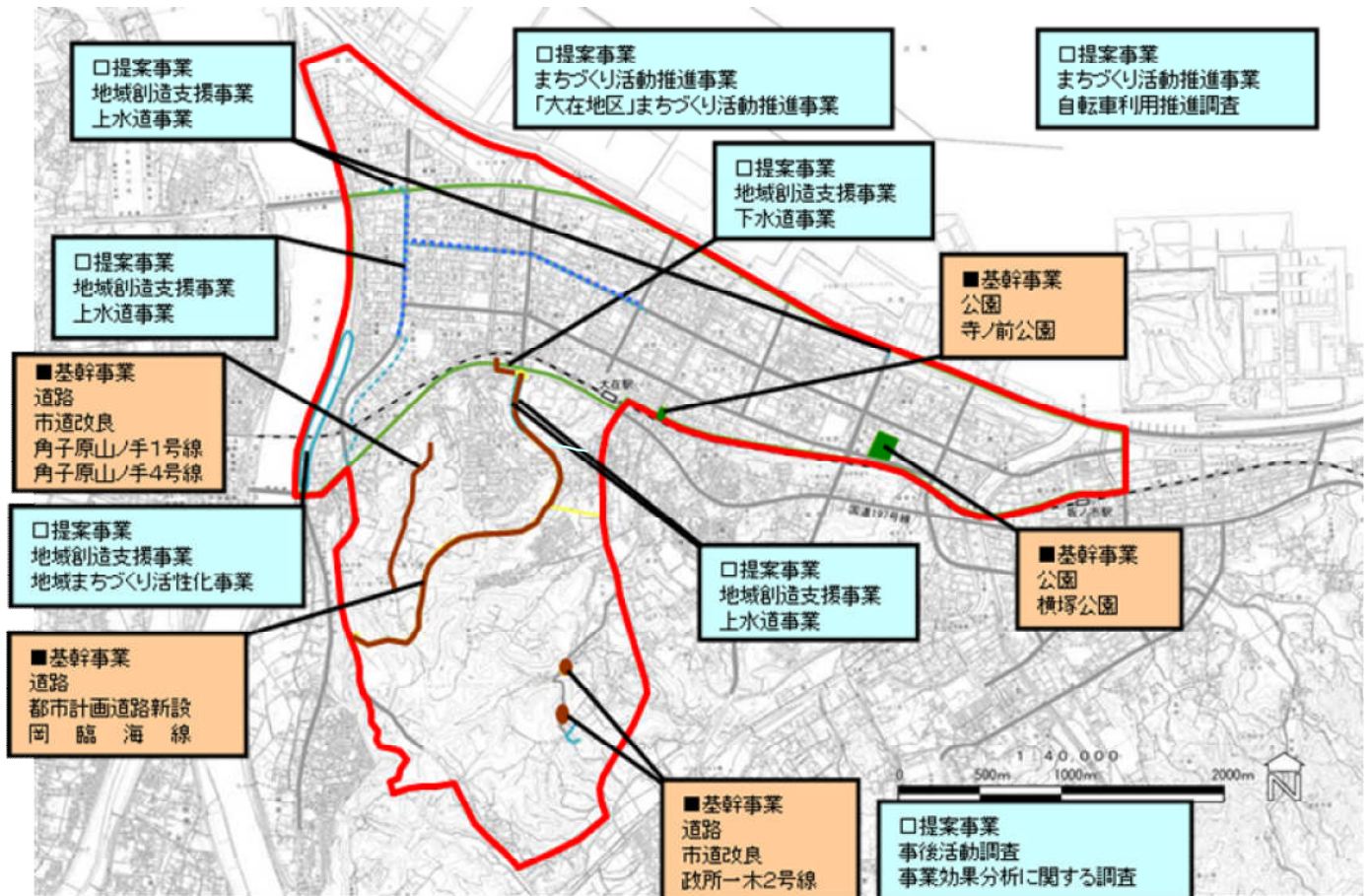
## 指 標

道路、公園、上水道などを整備することにおいて、先進的な産業活動と生活環境を充実させることにより居住者、就業者数を推進させ、また周辺道路の交通渋滞解消も目指した。

雇用者数	11,800	(H17)	13,300	(H23)
居住者数	21,000	(H17)	21,500	(H23)
志村交差点の渋滞長	580	(H17)	200	(H23)
住民参加事業の参加者数	1,000	(H18)	2,000	(H23)

## 事業内容

基幹事業(1,925 百万円) ・都市計画道路新設(L=2,500m)・市道改良(4 路線 L=765.5m)・公園(2 箇所、21,675 m<sup>2</sup>)  
 提案事業(602 百万円) ・上水道事業(L=4,370m)・道路排水施設(L=260m)・地域まちづくり活性化事業・自転車利用促進調査・事業効果分析に関する調査・「大在地区」まちづくり活動推進事業



## 地区の現況と課題

大在地区は「大分市総合整備基本計画」において、大在駅周辺が臨海部や内陸部の工業・流通系産業に関連した商業・業務機能の集積を図る新産業都市に位置づけられたが、土地区画整理事業はH14年度に完了したものの、産業立地が進まないことから、土地の利用が進まず、商業・業務機能の集積や人口の定着が進んでいない状況である。

## 基幹事業の特徴

### 都市計画道路新設 岡臨海線

複合産業業務拠点の骨格となる道路で周辺道路の交通渋滞緩和の為国道197号から岡地区までの2,500mを新設する。

### 市道改良 政所一木2号線

複合産業業務拠点の周辺道路において、車両交通のネックとなる箇所の視距改良・橋梁の架け替えを行う。

### 市道改良 汐見竹下線、角子原山ノ手1号線、角子原山ノ手4号線

地域の円滑並びに安全な道路ネットワークの構築を推進する。

### 寺ノ前公園、横塚公園

快適な都市環境、都市景観を創出し、地域住民の憩いやコミュニティの場及び災害時の避難場所となる公園を整備する。

## 提案事業の特徴

### 上水道事業

複合産業業務拠点のインフラとなる上水道の事業を推進する。

### 道路排水施設

都市計画道路の道路排水施設の整備を行う。

### 地域まちづくり活性化事業

大在地区住民により「コスモスふれあい広場」において種を植え、花を育て開花を楽しむ住民の親睦、融和、連帯感、まちづくりを目指す自転車利用推進調査

自転車利用空間の整備(自転車走行レーンの設置等)、放置自転車対策、観光、地域振興、交通渋滞対策などの検討をし、自転車を活かしたまちづくりを推進するための調査を行う。

### 「大在地区」まちづくり活動推進事業

地元からの自発的な活動による花や緑の創出と共に、市民協同の取り組みとして、住民や関係機関などによるワークショップや説明会の開催など、まちづくりへの気運を高めるための施策を行う。

## 計画策定プロセス

### 都市計画提案制度

平成17年8月に地元から都市計画提案制度に基づき複合産業業務拠点の骨格となる都市計画道路とその道路の沿線のまちづくりのための組合施工による土地区画整理事業の都市計画提案がなされ、まちづくりのビジョンとして都市再生整備計画に反映させた。



複合産業業務拠点となる岡地区



志村交差点の渋滞



寺ノ前公園



コスモス祭り